

# 材料加工理論／実習Ⅱ

選 択

開講年次：1 年次後期

科目区分：実 習

単 位：2 単位

講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：セラミックス、インダストリアルクレイ(以降"クレイ")と発泡材による造形基礎理論と実習を実施する。材料特性を知り、加工方法を習得するとともに、材料に適する造形技術、および、3次元の表現力、造形力を養うことを目的とする。

■**到達目標**：①材料の特性と加工方法を知る。  
②材料特性に基づいた造形ができる。  
③思い描いた造形を立体に加工できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎安齋 利典・張 浦華・山田 祥子

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーションと基礎知識（セラミックスとクレイ合同）
- 第 2 回 セラミックス：タタラ成形と型による成形
- 第 3 回 セラミックス：表面装飾とひも作りによる筒の成形
- 第 4 回 セラミックス：ひも作りの仕上げと自由形の成形
- 第 5 回 セラミックス：自由制作
- 第 6 回 セラミックス：自由制作仕上げ
- 第 7 回 セラミックス：電動ロク口体験
- 第 8 回 セラミックス：素焼き釉薬かけ、評価
- 第 9 回 クレイ：基本造形1：中子、荒盛り、造形作業
- 第10回 クレイ：基本造形2：造形作業
- 第11回 クレイ：基本造形3：仕上げ、完成、評価、解体
- 第12回 クレイ：応用造形1：概要説明、図面・ゲージ・中子作製、荒盛り
- 第13回 クレイ：応用造形2：造形作業
- 第14回 クレイ：応用造形3：造営作業、仕上げ
- 第15回 クレイ：応用造形4：シート貼り、完成、評価

\*前半セラミックス、後半発泡材／クレイと、前半発泡材／クレイと後半セラミックスの、2グループに分け、9週目で入れ替えます。

■**教科書**：適宜資料を配布する。

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	◎			理解、習得技術に関するレポート	30
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢。	20
発表					
課題・作品		○	◎		50
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：表現基礎、材料加工理論／実習Ⅰ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業開始時に、一括購入する材料費(粘土、クレイ、発泡材等)として4,000円程度が必要となります。世の中にある製品の形状を、造形的視点から観察すること。特にセラミックスに関しては、日常使っている陶磁器に関して注意深く形状や仕上げを観察すること。